

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200037		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート千葉さつきが丘 (2階)		
所在地	千葉県千葉市葉花見川区畑町73		
自己評価作成日	平成25年2月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成25年2月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「自分の親を入居させたいようなホームにしよう」をホーム独自のスローガンとして掲げ、職員間においてもスローガンを念頭に置き、日々懸命に取り組まれている。ホーム内では、職員と利用者において良好な関係が築かれており、日常生活では、昔ながらの趣味を継続して取り組めるよう支援するほか、希望に応じた外出や外食会の実施など様々なプログラムを設け、日々楽しく生活できるよう支援されている。ホーム内は、リビングや、廊下、階段、正面玄関の壁面に季節に応じた装飾がされており、とても明るい雰囲気であり、同時に清潔感も保っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「自分の親を入居させたいようなホームにしよう」をホーム独自のスローガンとして掲げ、職員間、利用者との「和」を大切に日々取り組んでいる。日々の支援では、天候のよい日には近隣の商店街まで利用者と一緒に出かけ買い物を楽しんだり、ホームに設置している花壇を活用しての花の栽培等、ホーム内のみでなく戸外での活動の充実に取り組んでいる。また、職員の知識や技術の向上に向けて、毎月内部において研修を実施し、必要な知識が身に着くように取り組んでいる。平成24年10月に新管理者を迎え、今後は地域住民との交流充実に前向きに取り組む、地域の交流会にも積極的に参加していく姿勢が窺えた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スローガんに「自分の親を入居させたいホームにしよう」を掲げ、入所後も初め友人等、行き来易い施設を心掛けています。	「自分の親を入居させたいホームに」とスタッフが「和」を大切に思い、スタッフの和、ご利用者の和、そして施設の和を築き、その和を以てアットホームな施設にしようと全員が理念を共有してサービス実践にあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	清掃や散歩の時等利用者と外出した時に近所の方や商店街の方に挨拶をして顔見知になって頂く努力をしています。	地域との交流では、近隣小学校の演奏会に参加したり、中学生の職場体験学習の受け入れを通じ交流を深めている。今後市内においてボランティア制度が開始される事で、その活用を検討している。	ホーム1階のスペースを活用し、地域住民との交流を広げていく事も検討しており、地域住民との交流がより広がっていく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今後の課題であり、まだ出来ていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の生活を確認して頂いたり、毎月開催の行事の報告や前回の外部評価の内容は全て報告してサービスの向上に生かしております。	会議には地域包括センター、市担当者、地域住民、利用者家族などが出席し、利用者やサービス、ホームの運営取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的に訪問等、交流を深め積極的に意見を取り入れたいと思っています。	今年度は、実地指導(更新時)があり、また管理者が交代したため、市へ挨拶に出向くなど担当者と綿密に連絡や意見を交わし、協力関係が築けるように努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての会議を行いスタッフの理解を行いスタッフの理解を深めている。転倒、転落の危険のある場合でもどのようにして身体拘束をなくした対応をするか、皆で意見交換をし、ケアプランに盛り込んでいる。	身体拘束をしないケアの実践に向け、身体拘束に関する内部研修を実施し、職員間の意識を高めている。現状、ホーム内において身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	インターネットや介護雑誌から資料等を職員に配布し、入浴時に外傷がないか注意しています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営者は、管理者や職員を段階的に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修や会議を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていくことを進めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、契約書及び重要事項説明書を管理者により、説明を行っております。ご家族等にはご理解とご納得頂けるまで時間をかけてご説明させて頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様等からの意見や要望、苦情の収集についてはホーム玄関にご意見箱を設置し意見を収集する他担当者会議の際、面会時に直接伺い聞きとられている。ご意見、ご要望があった場合はその都度話し合い意見の反映の努めている。	法人独自に「顧客満足度調査」を実施し、家族の意見聴取の機会を設けている。また面会時には積極的に意見や要望を伺う機会を設け、これらの意見要望は吟味の上、運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	3ヶ月に一度個人面談を行い、スタッフの意見を聞く機会としている。また、拠点ヘルパー会議を行っている。	管理者が日常的に声をかけ話を聞いたり、朝の申し送り時に職員の意見や提案を聞き、話し合う機会を設けている。職員からの意見や提案を日々の支援に活かせるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し各自が向上心を持って働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の行事計画に職員のスキルアップ研修があり計画に沿って実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流については法人内系列の他のホームとの連携を図りながら、先進事例等を積極的に導入しサービス向上につなげている。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の可否はご本人の希望を確認した上で決定している。ご家族様からも困っていることを相談している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面談時の書面や問合せから入居までの課程で時間をかけてご相談しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者の方が最も望んでいる生活が出来るように情報提供を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アットホームな雰囲気を目指し安心と安全な生活を送って頂けるホームを目指し声掛けや家事等を共にに行い明るい雰囲気作りを目指している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護計画に変更があった際などは、その都度ご家族と連絡をとり支援内容の説明及びご家族様の意見を		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や手紙はもちろんホームへは、誰でも来訪できるようにしているため、友人の方々等気軽に来訪されています。	友人の来訪や年賀状・暑中見舞等の文通等を通じて馴染みの人との交流を継続しているほか、医療機関への継続利用等を通じこれまでの関係の継続にも努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で散歩に行ったり洗濯物や掃除を一緒に行って共同作業をしております。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	自宅へ戻られたご利用者様もあり、ケアについて相談を受けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的なモニタリングをして本人の意向を第一に介護計画を作成しています。訴えの少ないご利用者様にも時間をかけ希望を表明して頂いております。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握は日常的な会話や家族からの要望の聴取時に把握に努めている。把握が困難な場合は、本人本位に検討し家族と相談のうえ、支援方針を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時にアセスメントして書面に残し職員各位が共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録や申し送りミーティング等で全員が把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティング等でアイデア等が出たときは、ご家族に提案したり、ご家族来訪時の際や電話にて近況報告をし、場合によっては主治医を交えたカンファレンスを行っております。	利用者の現状や課題等をアセスメントにおいて収集し、その後担当者会議において職員、家族を交え支援方針を検討しケアプランを策定している。ケアプランで掲げた目標の達成状況に関しては毎月のモニタリングの中で確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌や日誌に記録として残し日々の申し送り等で情報の共有化を図り、プランに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状態の変化等があった際にはその都度ご家族と連絡をとり、職員を交えたケース検討会議を行いケアプランの再、または追加事項としている。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアにてコーラスや尺八の会の演奏、また、中学生の介護実習の受入を行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの主治医とは別にご本人の今までのかかりつけ医への通院されているご利用者もおりますが、提携医療機関(主治医)とはご利用者の小さな体調不良に電話で相談して適切な指示を頂いたりしています。	かかりつけ医への受診支援は家族の協力を得ながら、適切な医療を受けられるように支援しているほか、ホームの主治医として提携先医療機関を設け、2週間に1回の往診や利用者の体調変化時には電話にて迅速に連絡を入れている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームの主治医の看護師により食事のことやご利用者様の対応方法等を相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院があった際には入院先の病院と連絡を取り介護サマリー主に個人記録をもちいて日常の様子を申し送っている。また、入院がなが長引いた際などは定期的に病院に伺い看護師等から状況確認を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化または終末期になりうる状況の際は、ご家族、主治医と密に連携を図り、援助計画を基に情報を共有している。職員間に関しても情報を共有し、ご家族、主治医、職員間においても統一したケアを徹底している。	重度化した場合や終末期のあり方については、契約時にホームで出来る事について説明している。また、重度化を迎えた際には家族、主治医を交え、今後の支援方針を検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルに基づいている。マニュアルは各フロアに設置されておりすぐに関覧可能となっている。なお、緊急連絡先も添付しておりマニュアルにそった対応ができるよう会議等で確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	会議にて防災説明を行い消火器の位置、避難経路の確認。災害時の動きなどの説明を行っている。また、緊急時の避難場所を設定し日々の散歩コースに取り入れている。また、地区の防災訓練に参加し地域との協力体制を築いている。	通報訓練、避難経路の確認、車椅子を使用した階段での避難訓練を消防署の指導を仰ぎ実施している。また、定期的に消防設備の点検(年2回)実施している。地域の協力体制については、現在近隣住民との交流を進め、協力関係が築けるように努めている。	災害時における近隣住民との協力関係のほか、災害発生後において家族等に利用者の安否をどのように伝えていくか連絡方法の明確化にも期待したい。

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全体が個人情報保護の契約書を交わしている。声かけはゆったり優しい口調で話しかけ明るく話しかけるよう心掛けている。	利用者に対して不適切な対応にならないように、接遇マナー、声かけについてを内部研修で取り上げ、全職員に周知徹底している。研修では他の職員の声かけをどう感じるかの試みなどを行い、各職員からの意見を収集している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用様を尊重し、ダメと言わないケアを心かけている。答えられない要望においてはダメと言わず別の提案をするなどして対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	昼夜逆転等、生活リズムが崩れないよう留意しつつ、起床から終身まで可能な限り本人ペースで過ごして頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居前から通っている美容院へ行かれるご利用者もいます。衣服等も職員同行で買い物に行っております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニュー作りからご利用者に参加して頂き配膳、下膳、食器洗い等一緒に行っている。	食事の準備や後片付けにおいては、利用者も関わりながら、食材のチェックや食器洗い、盛り付け等に関わり準備を進めている。今後は利用者からのリクエストに応じた食事等、食事を楽しむ工夫も検討している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量は記録している体重の変化等にて、必要に応じて主治医の指示を頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後3回必ず口腔ケアを実施しております。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人記録等に時系列で記録している。パターンを把握し自立に向けトイレ誘導を行っています。	利用者一人ひとりの排泄パターンに関しては、個人日誌内の排泄表に記録している。職員間で利用者の排泄パターンを共有しながら、定時の声かけや誘導によりトイレで排せつできるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分が少ないご利用者様に対しては、ゼリー等で水分を補っている。また、排便チェック表を使用し便秘や下痢等がないか日々チェックを行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のスケジュールはありますが入浴回数や時間帯についてはなるべくご利用者様の希望に沿うようにしています。	入浴については、体調を考慮しながら週2回入浴できるよう支援している。入浴中は安全性を確保するため1対1の介助を実施し、入浴時様子等は利用者の個人日誌の入浴欄に記録している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入浴後眠剤や安定剤を中止または減らすことに成功しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師のアドバイスやご利用者様一人ひとりの服薬について副作用の怖さや、誤薬の防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	過去の生活歴にて大工仕事が好きの方や花の手入れ等好きなことを一緒に行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所のスーパーへ買い物へ行ったり散歩の他にもドライブへ行ったり、同法人のグループホームへ行ったりしています。	天気の良い日には近隣への散歩や職員と商店街へ買い物に出かけている。外出以外においても駐車場脇の花壇での草取りやホーム2階のベランダでの日光浴等、外の空気に触れることができるように個々に沿った支援に努めている。	

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が小額ですが持っている方が居ります。管理の難しいご利用者様は事務所の金庫や銀行へ預けています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話番号を職員がかけ居室にて通話されません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部については季節ごとに飾りをかえています。ご利用者様が畳とこたつを希望されたので、設置して自由に活用されています。	共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮され、行事や季節に合わせて装飾したり、掲示をして生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	こたつやスペースやソファ等ご利用者様が自由に過ごされております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や好みの物の持ち込みをお願いしております。居室によっては畳を敷き布団を敷いて休まれる方もおられます。	居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものを活かして、なかには自分で描いた絵や写真など飾り、利用者が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームでの生活は、極力ご利用者様の意思を尊重し、起床、就寝時間等一人ひとりのペースに合わせて対応されている。決して無理強いのことなく、ご利用者様のペースを尊重した支援が日々図られております。		